



創立20周年同窓会設立!

もりい 同窓会 報

発行
MCL 盛岡医療大学校
柔道整復学科・鍼灸学科
同窓会



第1号発刊に

よせて



副校長 松岡 靖

MCL 盛岡医療大学校（旧校名・盛岡医療福祉専門学校）に柔道整復学科・鍼灸学科が設立されて20周年という大きな節目を迎えました。この記念すべき年に同窓会が設立されましたことを、心よりお慶び申し上げます。

本校は、盛岡医療福祉スポーツ専門学校、盛岡看護医療大学校と校名の変遷を遂げてまいりました。

しかし、その歩みの中で、開校以来の「学生が主人公」という理念と、伝統医療の灯を次世代へ繋ぐという使命が変わることはありません。

設立以来、令和7年3月卒業の第17期生まで、多くの優秀な人材を輩出してまいりました。今日、皆さんが各地で地域の健康を支える「癒やしの手」として活躍されていることは、本校にとって最大の誇りです。

医療を取り巻く環境は絶えず変化していますが、患者様に寄り添う志は不変です。この同窓会が、卒業生同士の研鑽と交流の場となり、母校との絆を深める礎となることを願って止みません。

皆さんの更なる飛躍と、同窓会の末永い発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

開校以来初の 同窓会を設立

令和7年1月26日、MCL 盛岡医療大学校にて同窓会総会が開催された。

松岡靖副校長の挨拶で開会、佐々木智章（1期生・MCL 盛岡医療大学校職員）を議長として(1)役員選出(2)同窓会会則の施行について(3)今後の活動計画案が審議された。今後の活動については、大枠があった方がわかりやすい。親睦がメインなら体育大会の参加も良い。学識の向上やスキル



本館5階で開催された同窓会総会の様子

向上の面では、幅を広げ接骨院や鍼灸院の経営セミナーのように、現場で学んできたことをOBの人たちへ伝達共有し、現場の楽しさや工夫・制度などを在校生に伝える機会が増えれば良い。などの意見やアイデアが活発に出された。

その後役員紹介(この日、

同窓会役員名簿一覧

会長 鈴木 敬太

副会長 佐々木 智章

佐々木 一雅

片方 郁太

幹事(学外)

柔道整復学科

小野寺 洋太

多田 夏海

鍼灸学科

田屋 寛和

吉田 華子

幹事(学内)

幹事長 佐々木 香奈

菅原 めぐみ

参与 松岡 靖

加納 舞

監事 熊谷 佳奈子

鈴木 星子

会長の鈴木氏はぎっくり腰の影響で欠席が行われ、最後に加納舞鍼灸学科科学科長より「今後の教育活動において同窓会で活躍する様々な先生方のお知恵を拝借できたらと思っております。」と閉会の挨拶を行った。

その後開催された親睦会では、同じグループ校である「菜園調理師専門学校」に

会場と料理の提供をご協力

いただくという、特別な形

式での開催となりました。

会場には、遠方よりお越し

いただいた卒業生の皆様を

はじめ当時お世話になった



恩師の先生方にも多数ご臨席いただきました。懐かしい顔ぶれが一堂に会し、会場は終始温かい雰囲気になりました。

本会の大きな楽しみとなつたのは、菜園調理師専門学

校が腕を振るつた「豪華な

料理」の数々です。グルー

プ校の強力なバックアップ

による本格的な美食がテー

ブルを彩り、参加者からは

「美味しい!」と感嘆の声

が上がりました。



余興の「クイズ大会」では、豪華景品をかけて大盛

り上がり。学科や卒業年度の垣根を越えてチームで正解を喜び合う姿が見られ、会場の一体感が高まりました。

最後は、年代や職場の枠を

超えた活発な情報交換が行

われ、医療の道を志した仲

間としての絆を再確認する

有意義な一日となりました。

会場・料理を提供して

くださった菜園調理師専門

学校の皆様、そしてご参加

いただいた皆様、誠にあり

がとうございました。

同窓生だより

令和7年度 同窓会の皆様に

よる行事協力のご紹介

令和7年度、同窓生の皆様

には母校の教育活動および

行事運営に対し、多大なる

ご協力をいただきました。

厚く御礼申し上げます。本

年度の主な活動実績を以下

の通りご報告いたします。

■ 体育大会

同窓生の皆様には、競技へ

の積極的な参加をいただいたほか、専門知識を活かした「救護スタッフ」としても多大なるご尽力をいただきました。学生たちが安心して競技に打ち込める環境を支えてくださいました。

←テーピングを行う小玉先生



■ 就職フェスタ(経営セミナー)

キャリア支援の一環として

開催された「就職フェス

タ」にて、開業のための経

営セミナーを担当いただき

ました。業界の第一線で活

躍する先輩方からの実践的

なアドバイスは、これから

社会に出る学生たちにとつ

て大変貴重な学びとなりま

した。



■卒業生座談会
在校生との交流の場として座談会を開催しました。「先輩に聞く!開業への道」と題し、臨床現場での経験談や、学生時代の勉強方法など、卒業生ならではの視点で語られるエピソードは、学生たちの将来像を具体化させる機会になりました。

■第2回同窓会総会
第2回目となる総会が無事に執り行われました。内容としては、年間予算計画とそれまでの決算報告。同窓生同士のネットワークを深めるとともに、今後の母校支援のあり方について活発な意見交換が行われました。



■柔道大会
体育大会同様、医療専門職としての知識を活かし、大会中の救護活動を全面的にバックアップいただきました。「救護で処置を行う藤平先生

■盛伝伝統医学会(卒業生発表)
学術研鑽の場である本学会において、卒業生による研究発表として「接骨院・鍼灸院における構造医学の施術について」(館康央先生)、「認知症に対する鍼灸施術(三焦鍼法)の1症例」(鈴木敬太先生)を発表していただきました。発表は臨床現場での知見に加え、実技披露を交えて、

最前線で活躍する先輩方の熱心な解説に、学生にとって非常に有意義な研鑽の場となりました。



↑発表を行う鈴木先生

■その他の活動
上記の定期行事に加え、年間を通じて開催されたオンラインキャンパスにおいても、「体験授業」の講師やサポートを担当いただきました。母校の魅力を志願者に直接伝える役割を担っていただき、入試広報活動への多大な貢献をいただきました。また、スポーツ現場等におけるトレーナー活動の見学機会も提供いただきました。現場の空気感やプロとしての振る舞いを間近で学ぶ機会は、学生にとって

何物にも代えがたい経験となりました。

同窓会の皆様の温かいご支援により、本年度の行事も実り多きものとなりました。今後とも、母校の発展と後輩たちの育成に変わらぬご協力をお願い申し上げます。



↑好評だった吉田先生の「体験授業」

◆『今年度、行事協力いただいた同窓会の先生方』
小玉慧作先生(柔9期・鍼12期)、片方郁太先生(柔10期・鍼12期)、片方百華先生(柔12期)、佐々木一雅先生(柔鍼3期)、小野寺洋太先生(柔12期)、藤平優也先生(柔5期)、鈴木敬太先生(鍼7期)、館康央先生(柔5期)、吉田華子先生(柔鍼13期)順不同。

医療大学校 の活動

令和7年度、母校では新入生の入学から専門技術の習得、地域連携、そして学科の誇りをかけた競技大会まで、多彩な行事が執り行われました。

学生たちの活気あふれる一年の歩みをご報告いたします。

《主な行事・学生活動》

□入学式

今年度の入学式は、MCL専門学校グループ全体で盛岡駅前「マリオス」にて盛大に挙行されました。医療人としての第一歩を踏み出す新入生たち6名の引き締まった表情が印象的な門出となった。

□クリーンアップ作戦

MCLグループ合同で清掃活動を実施。本校からは柔道整復・鍼灸・歯科衛生・看護の4学科が参加し



ました。ゴミ拾いを通じた地域貢献とともに、他学科との交流を深め、多職種連携への意識を高める機会となりました。

□体育大会

柔道整復・鍼灸・歯科衛生の3学科合同で開催。新入生の歓迎とともに、学科・学年間の垣根を越えた団結力が見られました。

□盛医就職フェスタ

今年度より初めて本校を会場として開催。実技体験ブースでは学生がプロの施術を肌で感じる機会もあり、「経営セミナー（3年生対象）」とあわせ、将来のビジョンを固める貴重な場となりました。

□柔道大会（柔道整復学科）クラス対抗の3人制団体戦、および男女個人戦が開催されました。優勝を目指し、授業の成果をぶつけ合う気迫あふれる大会となりました。

□経穴かるた大会（鍼灸学科）

団体の部・個人の部で優勝を争いました。経穴知識の正確さと速さを競いながら、学年を越えた親睦を深めるユニークな学びの場となりました。

□伝統医学会

鍼灸学科学生発表、AT部活動報告から開会し、卒業生発表を各学科卒業生の先生方に発表いただきました。

《技術・学術への取り組み》

KTテープ特別講習…企業の協力を得て、両学科の2年生が受講。臨床現場で必須となる最新テーピング技術と術を習得しました。

臨床現場で必須となる最新テーピング技術を習得しました。



東洋療法学校協会学術大会・鍼灸学科の学生が日頃の研究成果を発表。学術的な視点から東洋医学を深める場となりました。

その他、卒業生の先生方が活躍する企業様のご協力を得て、特別講習や授業を多数行いました。

《地域・アウトキャンパス活動》

厚沢部町アウトキャンパス・鍼灸学科2・3年生の有志7名が北海道厚沢部町を訪問。地域の方々への健康教室などを通じ、学外での実践的なコミュニケーションと地域医療の重要性を学びました。



IBCまつり等イベント出店・資格や学校について幅広く告知の為活動を広げています。

トレーナー活動見学…卒業生の先生方のお誘いで希望者が地域チームの大会救護助手、見学を行いました。

《部活動の活躍》

■柔道部

全国柔道整復学校協会柔道大会出場ほか県内大会出場

■AT部

盛岡シティマラソン等多数マラソン大会（げんきやブリス）ブリス活動、スポ少チーム指導

■バレーボール部

東北専門学校大会出場

在校生の夢への挑戦をサポート！

サポーター募集中

就職活動・経験をアドバイス
トレーナー活動への学生常同
広報活動への取材要請

※謝礼、交通費等の支給はございません。

編集後記「今昔物語」

久々に母校を訪ねて驚くは、事務局のお姉様方の変わらぬ元気な姿。皆さん一度は叱られたはず。一方で、ようやく「時が動いた」のが学生サロン。我々が在学中、あれほど血眼になって設置を熱望した「電子レンジとポット」が、令和3年ついに降臨しました。令和になってようやく「熱」を手に入れた学生サロン。母校の進化は、ゆっくりですが着実に。母校を訪れる際は、ぜひマイカップ麺を持参して、あの頃叶わなかった「サロンでの温かい昼食」をリベンジしてみたいいかがでしょうか？

（報編集部）